

5 のこしていききたいつたえていききたいことば

お晩方（ばんがた）です

〈意味〉

（夕方に）

こんばんは

〜とちぎ^{じん}人の想い〜

現在の「こんばんは」「ごめんください」とニュアンスが異なり、心の中でお互い^{こと}を思いやり、ことば^{たが}を掛け合うすてきな挨拶^{あいさつ}。親戚^{しんせき}の家を訪ねるときには、親から『お晩方です』と言いなさい。』と言われたものです。

〈こんなときに使います〉

○夕方^{かいらんぼん}、回覧板^{かいらんばん}を回すために、となりの家に訪問するとき、相手方^{ばんがた}の玄関先で「お晩方でーす。」



〈プラス1情報〉

○「お晩方です」には「今日も1日お疲れ様」という相手に対する思いやりの気持ちも込められています。温かみや親しみ、なつかしさを感じることでできることばです。

○同様に、夜には「お晩です」も使われます。

6 のこしていききたいつたえていききたいことば

ごじゃっぺ

〈意味〉

うそ、でたらめ

〜とちぎ^{じん}人の想い〜

うそのことを指すけれど、相手を責めるのではなく、思わず、ほほ笑んでしまうような、軽い感じがありました。親しい人の間で、親しみを込めて使っていたと思います。



〈こんなときに使います〉

○うそやいい加減^{してき}さを指摘するとき（相手に向かって）

「ごじゃっぺばかり言って。」

→うそばかり言って。

「それ、ごじゃっぺだっぺ。」

→それは、うそでしょう。

「ごじゃっぺしてねえで、しっかりやれ。」

→いい加減なことをしていないで、しっかりやりなさい。

（自分の行動について）

「ごじゃっぺ言っちゃった。」

→いい加減なことを言ってしまった。

〈プラス1情報〉

○「うそ」についての表現は、ほかにも「チク」などがあります。